



魔法の言葉「ありがとう」……!

最近、たまった録画番組を見ていて、この言葉が胸に突き刺さりました。その番組は少し前に放送されていた、「TOKYO MER～走る緊急救命室～」!

MERのチーフドクター喜多見幸太(鈴木亮平)は、緊急を要するいかなる場面においても、大変冷静に、事態を把握し、判断し、部下(「仲間」といえるかな)に指示を与えていきます。

そのような緊迫した状況においても、「仲間」に対して、必ずかけている言葉が「ありがとうございます」「ありがとう」です。

この言葉によって、彼の仲間たちは、冷静さを取り戻し、自分の役割を最大限発揮し、目の前の事態を収拾していきます。そして、仲間たちの絆がどんどん強くなっていきます。



☆あなたはこの「ありがとう」という言葉を周りの人にどれだけ伝えていきますか?

「ありがとう」は日本語で感謝の気持ちを表す言葉として、日常でも職場でも使われていますが、この言葉にどれほどのパワーがあると思いますか?

先に、答えを言っておきます。

★「ありがとう」のパワーは∞です。★

「ありがとう」という言葉はとても大切な言葉として、小さい頃から教えられてきましたよね。私も、自分の子どもたちに何かにつけて「なんかいう事ことない?」って「ありがとう」を言わせたがいました。(娘たちはどう思っていたのかな…。)

今回は、この「ありがとう」という言葉について改めて考えてみたいと思います。

「ありがとう」は人の心を動かし、人を成長させる言葉

まず「ありがとう」の由来ってなんでしょうか。

「めったにない」「めずらしい」を意味する「有り難し」という言葉が語源です。

「ありがとう」は有難し(ありがたし)の連用形「有り難く(ありがたく)」がウ音便化したものです。

(ちょっと難しいかな!)

また、仏教語であったとも言われ、「法句経」にある生命の驚きと感動を伝える言葉が、時代と共に感謝を表す言葉となったとも言われています。

by Wikipedia

「有り難し」はその言葉から見てわかるように、「有る」ことが「難しい」ということで、「めったになく貴重である」といった意味になりますね。

でも逆に言うと、「難」が「有る」ってということじゃない!?

では、その「難」って何か?それは、「困難・災難・苦難」だということですね。

困難や災難があったら、全然ありがたくないじゃない…。

でも、よく考えてみましょう。

人は、その「難」を乗り越えていく力を身につけ、乗り越えていけばいくほど成長していく。「難」が一つもない人生では、人は自ら考えることも動くこともないんじゃないかと思えてきます。

だから結局、人生において「難」が「有る」ことが「ありがたい」という考えはとても納得がいきます。

とまあ私は「これまでの人生の困難、災難にありがとう!」と感謝しておくことにします。

「ありがとう」があなたと周りを変える

「ありがとう」という言葉は、言われた人も言った人にも良い影響があるとされています。どれだけの効果があるのかは、数値では計れません。

でも、世の中のあいとあらゆるシーンでの「ありがとう」が原動力になることは間違いありません。



1. 家族からの「ありがとう」

これだけで家事(今は手伝いかな)も勉強も頑張れる気がしますネ。(※個人差はあります)

「言わなくても、分かってくれているだろう。」から一歩踏みだしましょう。言葉にするだけで、今よりはるかに良い信頼関係が生まれます。

2. 見知らぬ人からのちょっとした「ありがとう」

以前、私の前を小走りで通り過ぎていった女性が数メートル先で何かを落としていきました。私は慌ててその落とし物(車のカギだった)を拾い大声で叫んだのですが、耳にイヤホンをしていて声が届かない! またまた慌てて猛ダッシュで彼女に追いつきました。

息切れ、汗だくの私を見て、目を丸くしながら彼女は満面の笑みで「わー!! 全然気づきませんでした! 本当にありがとうございます! 」と言われました。

大した事ではないですが、この日私はなんだか一日気分も良く穏やかな気持ちでいられました。

3. クラスメイトからの「ありがとう」

クラスの中には、誰かに言うほどでもないけど、やらなければならない仕事(別名、名もなき仕事)をやっている人だっています。

そんな時、周りから「ありがとう」をもらうだけで、ちゃんと見てくれていることがわかるし、とても嬉しい気持ちになります。

「ありがとう」を伝えよう!

最後に「ありがとう」の対義語は「当たり前」です。

今までできて「当たり前」だったことも、「当たり前」じゃない日が突然来ることもあるのです。

今、「ありがとう」を、伝えましょう。

最後まで読んでいただき



ありがとうございました。

